ふかまちのまど

第二十六号
九六年 六月一日

地域の一員として

岡本義弘

深町はすばらしい。自然の中の地域、学校、子どもたち、帰郷して地域の良さが分かった気がします。地域の一員として如何にあるべきかを自分なりに深町以外での生活を含めて考えてみました。

長男六年生、次男三年生の春、深町へ帰郷しました。学校の校庭で二人だけで遊んでいた時、子ども会ソフトボヘル監督から入らないかと声をかけられ、即入会しました。友達が多数でき、ソフトボールに熱中し伸び伸び育ち、子ども会、小学校時代はよい思い出になっていると思います。

私は、体振、PTA、子ども会等に参加して地域の活性化、及び子供たちのために取り組みました。特に子供たちはすばらしい目をしていました。無限の可能性を持って・・・子どもたちの為に努力する事が、地域の発展に繋げると確信しています。なぜなら、子供たちは地域の子供たちであるから。

福山、神辺、庄原、糸崎地域に十九年間転出していました。各地域良い面が多々有りますが、特に神辺小運動会は、各種団体、参加町民と、学校一体の運動会であり、県北地方の庄原は、おじいさん、おばあさん、子供たちが、朝に、夕方に、あいさつが出来ていることです。線路、踏切で仕事をしていると、「おはようございます」「行って来ます」「帰りました」等声をかけてくれました。県北地方の人々は人間性が豊かであると感じました。

深町地域は、学校、各種団体が活発に活動され、学校は地域文化の中心として位置づけられ、地域交流の場になっています。特に盆行事、町民運動会、市民体育大会等に多数参加は、地域発展の為、仲間意識が育っていると思います。子供は親の背を見て育つと言われます。又、地域の姿を見て育つのではないでしょうか。

二十一世紀に向けて、環境問題、福祉問題が大きな課題であると思います。自分自身地域の一員としてこれらの問題に取り組んで行きたいと思います ▲▲

わたしラブです

兼長和幸

皆さんはじめまして！

私は、生後四ケ月の時、三島市から新幹線に乗せてもらい、兼長家へやって来てもう六年になります。

私は体重一・八Kgのマルチーズ(メス)の「ラブ」と申します。

どこへ行くのもご主人様と一緒。私は車が大好きで、ご主人様と出かける時は、真っ先に車に行き待っています。車に乗るといつもご主人の背中が私の特等席です。私にとって一番安全な場所だからです。

又、冬は寒いのでご主人様のジャンパーの中に入って顔だけ出しています。気候がよくなると買物かごに乗って出かけます。私は特技はありませんが、家族の方が「お手」と申しますと、足を差し出して仰向けにひっくり返り愛嬌をふりまきます。

私の大好きな食べ物は、鳥肉と焼き芋です。いつも家族の送迎をしたり、見知らぬ人が来るとご主人様に知らせ、喜ばれています。それとご近所では美人？との評判も・・・よろしく！▲▲

深の歴史 (八)

昭和二〇年の二つの災害

高崎壽郎

二つの災害とは、八月八日の山火事と九月一七日の大洪水のことである。

大平洋戦争も末期の昭和二〇(一九四五)年八月六日午前八時一五分米軍は原子爆弾(当時は新型爆弾といっていた)を投下、広島市は人類始まって以来といわれる大惨状となった。

そして、空爆が次々に地方都市へと広がりをみせていた八月八日の夜、福山市は米軍のB29六〇機による大空襲を受け、深でも山火事が発生した。

深郷土誌に「八月八日、福山市空襲と同時刻午後一一時頃米軍焼夷弾を上組西角山、神ヶ谷の二ヶ所に投下し忽ち火災となり延焼一八時間、二五町歩伍山林焼失」とある。

なぜ深へ焼夷弾を落としたのだろう。古老にきくと、

・日本軍が軍需物資を太郎谷に隠匿していたのを米軍が知っていた。

・深に焼夷弾を落とし、福山空襲のB29になにかのシグナルを送っていた。

・空襲終了の帰途、重い爆弾を落とし機体を軽くした。

・灰小屋の残り火を人家と間違へ落とした。

などであるが、真相はわからない。

当時、村の青年は殆ど応召で戦地に行き、銃後の守りは、農耕をはじめ消防団まで婦人の手により行なわれていたが、この山火事には全く手も出ず自然消火を待つのみであった。山林二五町歩の火事は深の歴史では二番目の大火(大正一四(一九二五)年、三〇町余の山林火災の記録あり)で、東も西も炎の一夜だった。

八月一五日、終戦の詔勅。「神国」といわれた我が国は敗北した。

そのショックで、人々は意気消沈し、絶望と挫折感で無気力になり何も手につかない虚脱状態になっていた時、これに追い打ちをかけたのが九月一七日、鹿児島県の枕崎市に上陸して九州を北上し、中国地方を横断した枕崎台風だった。

記録によると

・気圧　九一六・六mb

・瞬間最大風速　四五・三m/s

・一時間の最大雨量　一九七・三mm

・死者　全国　三七五六人

・死者行方不明　(広島県)　二〇一二人

で、室戸台風に次ぐ史上二番目の大台風で、特に広島県の被害は全国一だった。

一七日の夕刻から風雨は一段と強くなった。不安でまんじりともできなかったが、一夜明け被害の状況が判明するにつれ、収穫を眼の前にした田畑の余りの変り様に人々は只呆然と立ち尽くすだけだった。

深町郷土誌には「九月一七日、未曾有の台風襲来し大水害となり被害甚大、古屋敷為吉氏宅流失橋梁全部流失、護岸の決壊農地に土砂侵入し砂漠のようになった」と記している。幸いに深では人命の被害はなかった。

上組では、昭和一五(一九四〇)年に旱魃対策に造られた魚切り新池も、大自然の猛威の前には無力だった。中組では、田畑や灰小屋が流失したり、校庭は膝上まで水浸しになった。下組では、橋の復旧が遅れ、引揚者や復員兵は中野から山伝いに家に辿り着かれたとのこと。

敗戦に続く大風水害に、「世も末か」と暗澹たる気持ちになったことをよく覚えている。

余談だが、西の白竜湖(椋梨ダム)に対して東の青竜湖といわれる御調ダムは、昭和二〇(一九四五)年の枕崎台風や昭和四五(一九七〇)年の台風一〇号などを教訓として、御調川の治水や農業用水の確保を目的に造られた人造湖である。このダムは、完成の平成元(一九八九)年三月まで一六年の歳月と一三九億円の費用を投じて建設された。▲▲

消防団からのお礼

消防団 団長 麓 正徳

この度の、ダム山林火災消火活動では、多大なご協力をいただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

展望席

「超」という字が目につく「超」整理法。パソコン「超」仕事法。「超」勉強法もある。かっては一晩つけて寝たら美人になれる化粧品も売り出された。楽々身に付く英会話。この一冊で進学は大丈夫。頭のよくなる本。・・・・▼入院中時間と暇を持て余し、競馬の総理大臣賞に挑戦したが見ン事外れた。「利殖は株式投資で銘柄はこれ」とくる。それほど確信があるのなら、人様に教えるまでもなく自分で、と言いたい。▼つけるだけで美人になり、一冊の本が快刀乱麻全て解決というのであれば、不幸という言葉は死語となる。「商売と割り切らなくっちゃあ」という声が聞こえるようだが、木津信金の抵当証券が示すように拘置所の塀の上を歩くような商売のやり方もある▼消費者保護という耳ざわりのよい言葉は聞かされるが、情報はロックされたまゝである。あらゆる企業は、最低投資で最大の効果を求める。一冊の本も「買はせ方」に知恵を絞る。我々消費者も汗(努力)を流さず高枕で優雅な人生を夢見るのではないか。

☆町内会連合会から

(1) この度、三原市合併五〇周年記念事業として、深町内会連合会に「郷土誌編集室」を設置し、四層二〇〇〇年を目標に「新修深郷土誌」を編集することになりました。
深の歴史に関心をお持ちの方で郷土誌編集に参画希望の方は、六月一五日までに左記へご連絡ください。
・高崎壽郎　六三一四七五六・桑谷満夫　六三一三八九五
・村上徹郎　六二一五四一八・横谷和仲　六四一九〇三八

(2) 定期総会　五月二六日開催されました。

(3) 新会長に　横谷和仲　下組会長が選任されました。

☆ご協力ありがとうございました

深町子ども会が、先般期限切れとなりました「ゴミ処理券」を集めさせていただいたところ、みなさんのご協力によりたくさんの券が集まりました。厚くお礼申し上げます。

深町子ども会　会長　小川教道

いらっしゃいませ

♥井手上孝様　西側　四月

お悔み申し上げます

★林美智加様　八〇歳　五月二〇日

★金重博道様　七〇歳　五月二七日

六月町内行事予定

◆市民グートボール大会 ◆市民グランドゴルフ大会 いずれも市運動公園 九日(日曜日)

◆小学校・幼稚園

▼田植え 一日 ▼いも植えだけ 七日 ▼映画干渉 一七日 ▼参観日・家庭教育学級 二〇日 ▼プール開き・誕生会 二六日 ▼内科検診 二七日

◆尚寿会

▼今高野 温泉旅行 二六日

◆女性会

▼親睦会・上 七日 ・中 八日 ・下 二八日

▼倉敷山陽温泉旅行 九日 ▼グリーンデー 下旬

◆如水館高校野球

▼神戸村野工 八日 ▼神奈川武相 九日 ▼岡山倉敷一五日 ▼県工・岡山学芸館 二三日 ▼山口久賀・岡山学芸館 二三日

◆下町内会

▼公民館整備委員会 八日